

五十周年を迎えた母校の未来



尚友会会长

岸本 大三郎

昨年十一月二十日に母校・金蘭千里学園創立五十周年記念式典が挙行されました。式典では尚友会から寄附目録尚友会「記念事業積立金」及び学園への「特別寄付金」が辻本校長に手渡されました。「特別寄付金」は短期間の募集でした。一期から四十八期まではほぼ全ての年度の卒業生から温かい寄付を頂き、合計は約六百万円に達しました。「記念事業積立金」とあわせると寄附総額は約千三百万円となり、母校が「伝統」の理念に

に基づき次の五十年間ににおける「革新」の実現に役立てて頂くことを希望しています。金蘭千里学園における教育はこれまでの五十年間で驚くほど充実し、深化し、発展しています。人間教育が最も大切な青春のこの時期を金蘭千里学園で過ごすことができる若者をとても羨ましく思います。未来に向けてさらに発展するこことを期待しています。

「ホームカミングデイ」は例年通り六月十八日(土)に開催されますが、校長先生のお話、部活動の紹介や在校生の皆さんとの交流の場も企画しています。合唱部や吹奏楽部による演奏も準備して皆さんをお待ちしています。金蘭千里学園の「革新」がどのように進んでいるのか皆さんの目と耳で確かめて頂ければ幸いです。

創立五十周年記念式典を挙行 —次の五十年に向けて—



学校法人 金蘭千里学園 理事長
辻 本 賢

学校法人 金蘭千里学園 理事長
辻 本 賢

春早く、鶯が鳴き、桜が咲き、校庭の芝生も緑鮮やかになります。

平素は尚友会の皆さまには、法人の役員、学校医、キャリアー教育の講師としてご支援をいただくのみならず、折に触れ、後輩を車中で見かけたときの懐かしさや不満足の声、活躍している卒業生の情報などを校長室にお持ちいただくなど、変わらず、感謝に堪えません。

今年度の尚友会新入会員は一六四名で、その大学の進学先は各人の努力が生かされた立派な成果でありました。今年も中一クラス三人以上在籍し、優秀な九〇名を

迎えています。母校教育が評価されているものと大変嬉しく思っています。

昨年、創立五十周年記念式典を挙げることができました。金蘭千里の伝統を継承しつつ、ワン・パッケージで改革を大胆に進めることを決意しました。それらは、制服、入試制度、部活動、高中祭など多岐にわたっており、二十八年度は、高二、中三生徒のみがオリジナルな学生帽、ベレー帽を着用する最終学年になります。二十九年四月には、五十年間着続けてきました女子生徒の制服を見ていただけなくなります。私も若干感傷的になっています。

お札が遅くなりましたが、尚友会の皆さまから、創立五十周年を記念して、多額の寄付を寄せていただきました。ピアノを購入させていただきます。ホームカミングデイでお披露目する予定です。その日にお会いすることを楽しみにしています。

・金蘭千里中・高等学校への入学や転入学

ありません。

・金蘭千里中・高等学校への入学や転入学につきましてもご相談下さい。

多大なる「学校創立五十周年記念寄付金」有難うございました！

この度、金蘭千里学園尚友会よりお声をかけ

ていたいた「学校創立五十周年記念寄付金」の

お願いに多くの皆様からの賛同があり、多大な

ご寄付を頂戴いたしました。改めて厚く御礼

申し上げます。

尚、左記に卒業年度順にご寄付を頂戴しま

した方々のご芳名を記載させて頂きます。

今後とも本校のご理解、ご支援をお願いいた

しますとともに、皆様の益々のご発展をお祈りし、

御礼とさせていただきます。

尚友会 理事長

学校法人 金蘭千里学園 理事長

辻 本 賢

個人 法人

(株)アドバンスラボ

代表取締役

八木

伴樹(一期)

重樹

吉田

千尋

医療法人社団

堀池歯科

洋子

久美

正美

美子

加代子

裕元

敏子

裕子

桂洋

桂子

桂子